

乳がん検診を受ける方へ

◎乳房エックス線撮影（マンモグラフィ）

乳房を片方ずつプラスチックの2枚の板ではさみ、撮影します。撮影中は乳房に少し圧迫痛を感じることがありますが、月経の一週間前を避けると痛みが少なくなります。触診では見つからないような小さながんを発見することができます。

※次の方は、マンモグラフィ検査を受診できません。
医療機関にご相談ください。

- ・妊娠中及び妊娠の可能性のある方
- ・授乳中の方
- ・ペースメーカーを装着中の方
- ・豊胸手術をされた方



乳がん検診で100%乳がんを発見できるわけではありません。

がんがあっても異常なしと判定されること（偽陰性）や、がんがなくても精密検査が必要となること（偽陽性）があります。

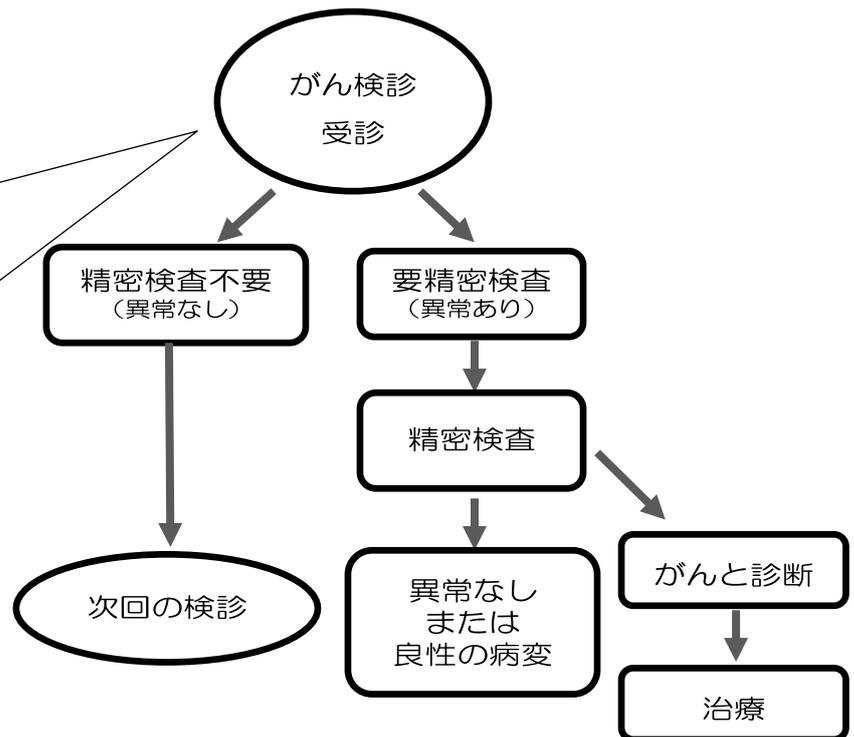
◎検診の流れ

対象：40歳以上の女性

結果の通知について

検診結果は、約1か月後に郵送いたします。

精密検査が必要となった場合は、保健センターにて、病院あての精密検査依頼書や画像データ等をお渡しします。



◎精密検査について

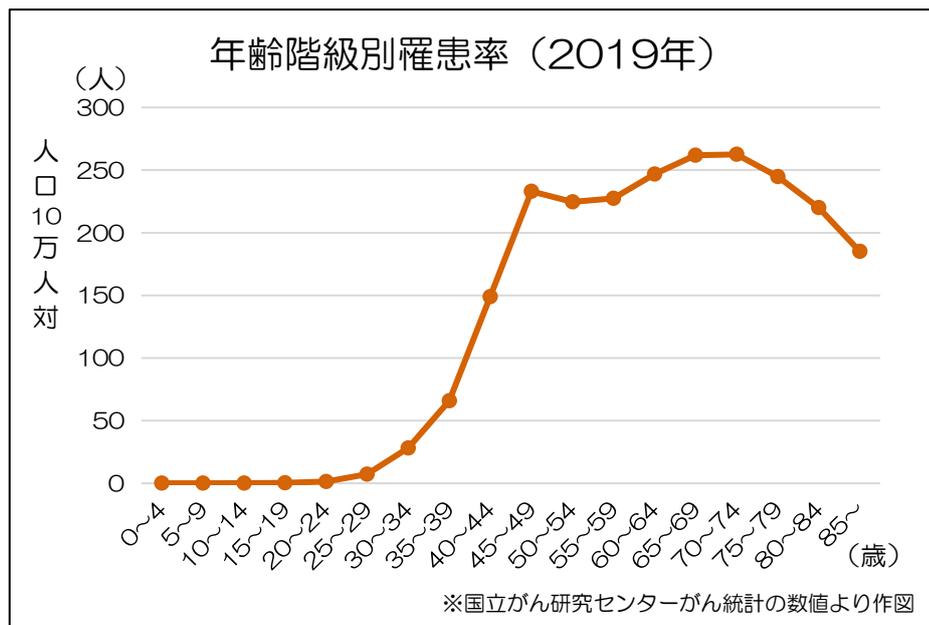
精密検査では、マンモグラフィの追加撮影や超音波検査、穿刺吸引細胞診や針生検等を、検査結果に応じて組み合わせて行います。超音波検査では乳房の断面をうつし出し、がんを示す影がうつらないか調べます。病変が見つかった場合は、穿刺吸引細胞診という検査で、病変に細い注射針を刺して細胞をとり、顕微鏡で調べます。

裏面もご覧ください

乳がんは女性がかかるがん第 1 位

乳がんは女性の9人に1人がかかると言われており、特に40～50代からかかりやすくなります。

乳がんは早期発見、早期治療で100%近い生存率が期待でき、乳房温存療法も可能になります。



検診の精度を保つために

効果的で精度の高い検診を実施するためには、みなさまの検診結果を正確に把握する必要があり、ご本人や精密検査医療機関に検診結果の追跡調査を行う場合があります。検診結果は市で集計した後、国に報告し、有効性の評価などに用いられます。

一次検診及び精密検査に関する個人情報については、市民の健康向上を目的に、一次検診実施機関、精密検査実施機関と共有し、事後指導、受診勧奨などに使用することがあります。その際には、個人情報保護法等を遵守し、適正・厳格な取り扱いを行います。

2年に1回は検診を受けましょう！

乳がん検診の受診間隔は2年度に1回です。日頃からご自分の乳房に関心を持ち、変化があればすぐに医療機関を受診するとともに、定期的に検診を受けましょう。

四條畷市立保健センター (☎) 072-877-1231